

細見美術館

開館15周年記念特別展Ⅲ

琳派展XV 琳派の伝統とモダン — 神坂雪佳と江戸琳派 —

Tradition and Modernity in Rimpa : Kamisaka Sekka and Edo Rimpa

平成二十五年十月十二日(土)～十二月十五日(日)

前期 十月十二日(土)～十月十七日(日) 後期 十月十九日(火)～十二月十五日(日)



金魚玉図(部分) 神坂雪佳 細見美術館蔵

琳派の
伝統と
モダン

琳派展XV

神坂雪佳と江戸琳派

主催 細見美術館 京都新聞社
休館日 毎週月曜日(祝日の場合、翌火曜)
開館時間 午前10時～午後6時(入館は五時三十分まで)
入館料 一般1,000円(800円) 学生800円(600円) ※(内は20名以上の団体料金)
会場 細見美術館 京都市左京区岡崎最勝寺町六-三
TEL 075-752-5555 <http://www.emuseum.or.jp>

開館15周年記念特別展Ⅲ

琳派展XV 琳派の伝統とモダン

― 神坂雪佳と江戸琳派 ―

Tradition and Modernity in Rimpa :
Kamisaka Sekka and Edo Rimpa

平成25年10月12日(土)～12月15日(日)

前期10月12日(土)～11月17日(日) 後期11月19日(火)～12月15日(日)

開館より回を重ねてきた琳派展の第15弾となる本展では、高い人気を誇る神坂雪佳(1866～1942)を中心に、鈴木其一(1796～1858)以降の江戸琳派の作品も交え、彼らの挑んだ伝統の継承と、新時代を見据えた意欲的な展開を探ります。

京都に光悦や光琳の作風を甦らせ、さらに独自の様式を確立した雪佳。江戸から東京へと変貌する東都において、抱一以降も長く活躍を続けた江戸琳派。両者を主軸とした初の展覧会、細見コレクションならではのラインナップをお楽しみください。



⑤

神坂雪佳と京の雅趣
― 光悦・光琳への憧れとモダン ―

- ① 金魚玉図 神坂雪佳
 - ② 伊勢物語図扇面「河内越」 神坂雪佳《後期展示》
 - ③ 十二ヶ月草花図より 十月「籬に菊」 神坂雪佳
 - ④ 楓紅葉図 神坂雪佳《前期展示》
- すべて細見美術館蔵



①



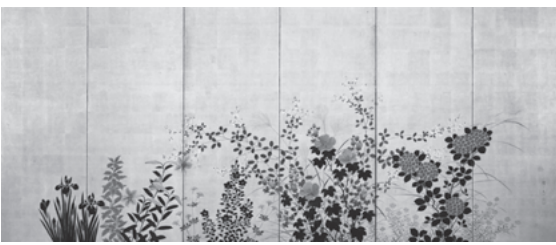
②



⑥

江戸琳派の粋
― 抱一風の名残と新たな試み ―

- ⑤ 業平東下り図(部分) 鈴木守一《前期展示》
 - ⑥ 朴に尾長鳥図 鈴木其一《後期展示》
 - ⑦ 四季草花図屏風(右隻) 山本光一《前期展示》
- すべて細見美術館蔵



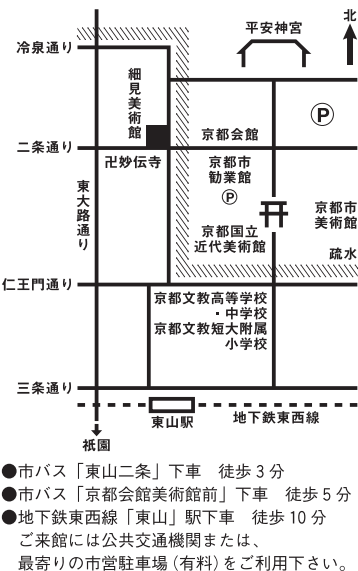
⑦



④



③



会期中のイベント

有料・事前申込制
詳しくは<http://www.emuseum.or.jp>

・和を愉しむワークショップ
「和菓子作り体験」
10月26日(土)

・気軽に茶会体験「野点のミニ茶会」
11月2日(土)・3日(日)

・開館15周年記念「正午の茶事」
11月29日(金)・30日(土)・12月1日(日)
・季節の花かざり「クリスマスを迎える花」
12月開催予定

スペシャルトークPartⅢ

聴講無料・申込不要
※但し、聴講には入館料が必要です。
作品を目の前にコレクションを熱く語ります。

・「館長と巡るギャラリーツアー」

講師：細見良行(当館館長)
10月19日(土)・11月22日(金)各10時30分より

・「ギャラリー講座」

講師：岡野智子(当館上席研究員)
12月7日(土)14時より

アートサロン

有料・事前申込制

・「神坂雪佳の伝統とモダン」
講師：福井麻純(当館主任学芸員)
11月15日(金)11時より

次回展予告 澤乃井 櫛かんざし美術館所蔵「櫛・簪とおしゃれ―粋に華やかに、美しく―」

平成25年12月21日(土)～平成26年2月23日(日) 年末年始休館：12月25日(水)～1月2日(木)